

主要な取組の結果

概要

教育委員会では今日の教育課題を解決していくため、特に、集中的・横断的に進めていく必要のある取組を、本県の教育の総合的な指針である「かながわ教育ビジョン」の「第5章 重点的な取組み」で整理し、そのうち主なものを県の総合計画である「新かながわグランドデザイン実施計画」に位置付けて取り組んでいます。

「新かながわグランドデザイン実施計画」の「プロジェクト2 教育」において、思いやる力や自立して生き抜く力、社会に貢献する力を育成し、「日本社会に根差したウェルビーイング」の向上を図るとともに、教員不足への対応や県立学校の老朽化対策などを推進し、すべての児童・生徒が安心して快適に学べる環境づくりに取り組んでいます。

ここでは、プロジェクトの達成度を象徴的に表す指標と、実施した施策・事業の進捗状況や達成の度合いを測るためのKPI（重要業績評価指標）を点検し、主要な取組の結果を評価しています。

総括

A 思いやる力や自立して生き抜く力、社会に貢献する力を育成する学校教育

本構成施策では、学校教育における思いやる力・自立して生き抜く力・社会に貢献する力の育成を目的に、キャリア教育の充実やグローバル人材の育成を図るとともに、インクルーシブ教育の推進に向けたフォーラムの開催などに取り組みしました。

B 安心して快適に学べる教育環境の整備

本構成施策では、すべての児童・生徒が安心して快適に学べる教育環境の整備を目的に、「かながわ子どもサポートドック」の推進や、秋期試験実施等の教員採用試験の改善、業務アシスタントの全県立学校2名配置等の教員の働き方改革の推進などに取り組みしました。

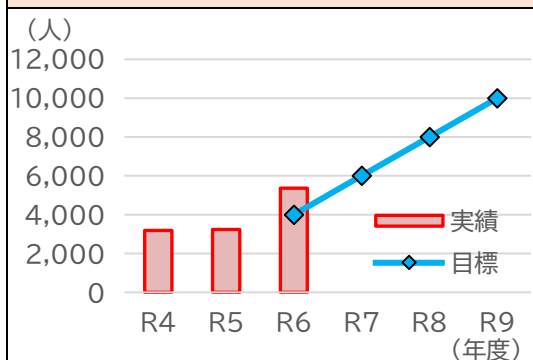
指標の動向

指標	令和4年度 実績	令和5年度 実績	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 実績	令和9年度 目標値
「自分はこうなりたい、こうしたい」という夢や希望を持てたと思う生徒の割合（県立高校） （魅力と特色ある県立高校づくりについてのアンケート調査）	85.3%	87.1%	87.5%	—	—	90.0%
将来の夢や目標を持っている児童の割合（公立小学校）・生徒の割合（公立中学校） （文部科学省 全国学力・学習状況調査）		72.7%	73.3%	—	—	75.0%
高校生活を振り返って満足した生徒の割合（県立高校） （魅力と特色ある県立高校づくりについてのアンケート調査）	85.7%	90.3%	91.5%	—	—	90.0%
学校に行くことが楽しいと思う児童の割合（公立小学校）・生徒の割合（公立中学校） （文部科学省 全国学力・学習状況調査）		83.9%	84.7%	—	—	90.0%

KPIの達成状況

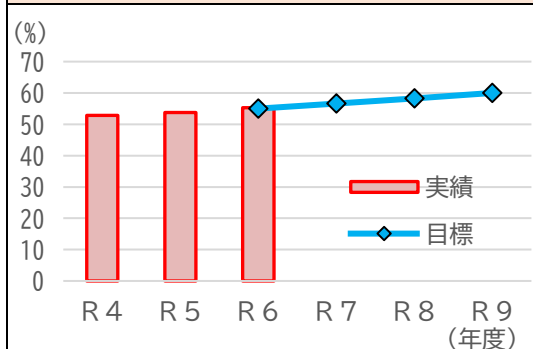
A 思いやる力や自立して生き抜く力、社会に貢献する力を育成する学校教育

インターンシップ体験生徒数(県立高校)(国立教育政策研究所 インターンシップ実施状況等調査)



(大柱Ⅴ 学び高め合う学校教育)

CEFR A2レベル相当以上の英語力を有する生徒の割合(県立高校3年生)(文部科学省 公立高等学校における英語教育実施状況調査)



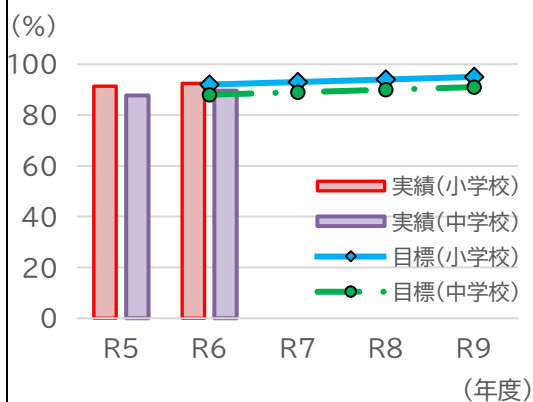
(大柱Ⅴ 学び高め合う学校教育)

「学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を使うことが勉強の役に立つ」と思う割合(公立小・中学校)(文部科学省 全国学力・学習状況調査)



※KPIの目標値は、新かながわグランドデザイン実施計画策定時の財政状況や活用可能な資源なども考慮し、達成可能と考えられる最大限の水準を設定したものです。

「人が困っているときは、進んで助けています」と思う児童の割合(公立小学校)・生徒の割合(公立中学校)(文部科学省 全国学力・学習状況調査)



(大柱Ⅱ 共生社会づくりにかかわる人づくり)

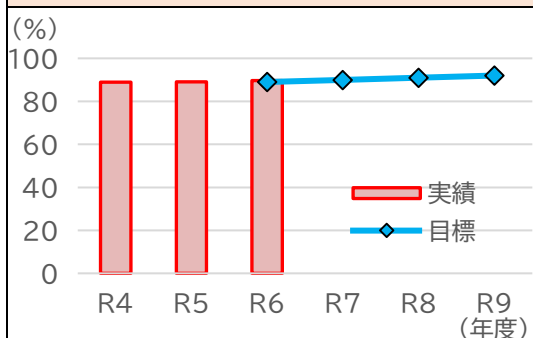
【単位:%】

年度		令和5	令和6	令和7	令和8	令和9
目標	<小>	—	92.0	93.0	94.0	95.0
	<中>	—	88.0	89.0	90.0	91.0
実績	<小>	91.3	92.5			
	<中>	87.7	89.6			
達成率 (%)	<小>	—	100.5			
	<中>	—	101.8			

○達成率:<小学校> $92.5 \div 92.0 \times 100 = 100.5\%$

<中学校> $89.6 \div 88.0 \times 100 = 101.8\%$

「中学生の時よりも人を思う気持ちが身についた」と思う生徒の割合(県立高校)(魅力と特色ある県立高校づくりについてのアンケート調査)



(大柱Ⅱ 共生社会づくりにかかわる人づくり)

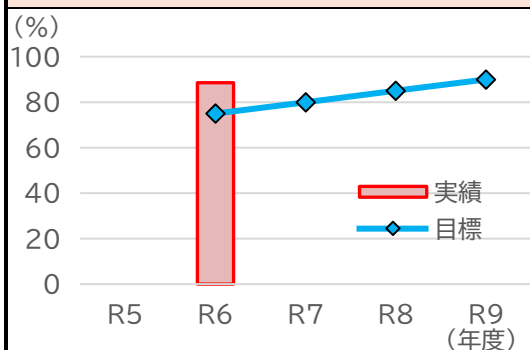
【単位:%】

年度	令和4	令和5	令和6	令和7	令和8	令和9
目標	—	—	89.0	90.0	91.0	92.0
実績	88.9	89.0	89.6			
達成率 (%)	—	—	100.6			

○達成率: $89.6 \div 89.0 \times 100 = 100.6\%$

B 安心して快適に学べる教育環境の整備

「かながわ子どもサポートドック」のしくみにより児童・生徒が専門的な支援につなげた割合(県子ども教育支援課、県学校支援課調べ)



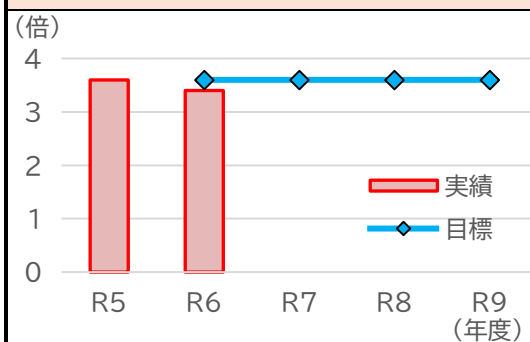
(大柱Ⅱ 共生社会づくりにかかわる人づくり)

【単位:%】

年度	令和5	令和6	令和7	令和8	令和9
目標	—	75.0	80.0	85.0	90.0
実績	—	88.6			
達成率 (%)	—	118.1			

○達成率: $88.6 \div 75.0 \times 100 = 118.1\%$

教員採用候補者選考試験の応募倍率(県教職員人事課調べ)



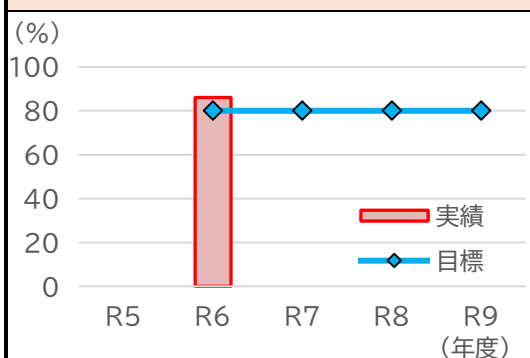
(大柱Ⅵ 意欲と指導力のある教職員の確保・育成と活力と魅力にあふれた学校づくり)

【単位:%】

年度	令和5	令和6	令和7	令和8	令和9
目標	—	3.6	3.6	3.6	3.6
実績	3.6	3.4			
達成率 (%)	—	94.4			

○達成率: $3.4 \div 3.6 \times 100 = 94.4\%$

「仕事にやりがいがある」と感じている教員の割合(県立学校)(県教職員企画課調べ)



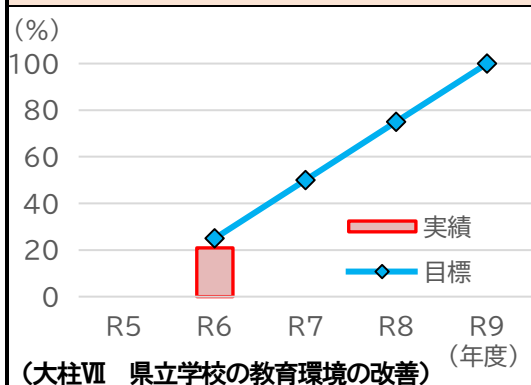
(大柱Ⅶ 県立学校の教育環境の改善)

【単位:%】

年度	令和5	令和6	令和7	令和8	令和9
目標	—	80.0	80.0	80.0	80.0
実績	—	86.0			
達成率 (%)	—	107.5			

○達成率: $86.0 \div 80.0 \times 100 = 107.5\%$

新まなびや計画第3期における老朽化対策(計画修繕)の実施割合(県立学校)(計画期間中の累計)
(県教育施設課調べ)



【単位:%】

年度	令和5	令和6	令和7	令和8	令和9
目標	—	25.0	50.0	75.0	100.0
実績	—	20.9			
達成率 (%)	—	83.6			

○達成率: $(20.9 - 0) \div (25.0 - 0) \times 100 = 83.6\%$

有識者の意見

【全体を通じて】

「新かながわグランドデザイン実施計画」の「プロジェクト2 教育」において取り組んできた事業は、全て「かながわ教育ビジョン」の中で目標にしてきた自己肯定感を核にした思いやる力や自立して生き抜く力、社会に貢献する力の育成に集約され、主要な取組としての位置付けが十分に理解できる。

さらに、課題解決への的確な事業内容とそれを支える教育環境の整備推進についても実績が認められる。これらの目標達成に向けたプロジェクトの成果と達成度について経年的にK P Iで点検・評価した点は説得力がある。指標の動向で「自分はこうなりたい、こうしたい」という夢や希望を持てた生徒の割合(県立高校)が87.5%で、高校生活を振り返って満足した生徒の割合(県立高校)が91.5%という実績は高く評価できる。そして、将来の夢や希望を持っている児童・生徒の割合(公立小・中学校)や、学校に行くことが楽しいと思う児童・生徒の割合(公立小・中学校)の着実な増加も評価したい。

【具体的な取組のK P Iについて】

A 思いやる力や自立して生き抜く力、社会に貢献する力を育成する学校教育

インターンシップ体験生徒数は、社会の中で自分を活かしたい、挑戦したいと考える生徒の数と捉えることができる。目標値4,000人に対して133.9%の達成率はキャリア教育の成果と高く評価できる。また、CEFR A2レベル相当以上の英語力を有する生徒の割合(県立高校3年生)も100.5%であり、生徒の英語資格・検定試験の受験料の補助や全県立高校及び県立中等教育学校の全課程にA L Tを配置するなどの実践的な取組が意欲の向上や自己教育力の育成を促したと評価できる。

さらに、「人が困っているときは、進んで助けています」と思う児童・生徒の割合(公立小・中学校)の達成率も100.5%(小)、101.8%(中)であり、道徳の授業のみならずあらゆる教育活動を通じた「いのちの授業」の取組などで思いやる力や社会性の成長を実感できる。地道な取組の成果を評価したい。

B 安心して快適に学べる教育環境の整備

1人1台端末等を活用し、困難を抱える子どもを効果的に把握して専門的な支援に繋げる「かながわ子どもサポートドック」の達成率が目標値に対して118.1%であり、適切な支援に確実に繋がっている。教職員の確保、育成については重点的に対策を講じており評価できるが喫緊の重要な課題であり、さらなる取組が望まれる。

今後については大学との連携強化を推進しつつ、高校生への働きかけや社会人採用にも期待したい。

新まなびや計画の第3期における老朽化対策（計画修繕）の実施割合については、令和6年度から開始し現在の達成率は83.6%である。安心して快適に学べる教育環境の整備に向けて、老朽化対策など今後も計画的で着実な取組を期待したい。